

学校教育目標	令和元～3年度「育てたい子どもの姿」～豊かにかかわり、じっくり考える☆(キラッと輝く)豊田っ子～			
	【知】 自ら学び、自分で考える力を持ち、学び合い、伝え合う子を育てます			
	【徳】 人や自然と豊かにかかわり合いながら、自分や友達を大切にし、心を通い合わせる子を育てます			
	【体】 運動に親しみ、健やかな心と体をつくり、生命を大切にする子を育てます			
	【公】 礼儀や感謝の気持ちを重んじ、まちの人・もの・ことを大切にする子を育てます			
【開】 様々な人や文化にふれて、視野を広げられる子を育てます				

学校概要	創立 130 周年	学校長 垣崎 授二	副校長 澤田 圭美	2 学期制	一般学級: 12	個別支援学級: 4
	児童生徒数: 452 人	主な関係校: 豊田中学校、飯島中学校				

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	豊田中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
〈問題発見・解決能力〉 〈自分づくりに関する力〉 夢や目標をもち生き方を追及する姿勢 共生社会を形成する態度 協働的に解決策を見いだし実行する能力	豊田中学校 豊田小学校 倉田小学校	○自ら考え、自ら学び、人やもの・地域と豊かにかかわり合いながら共に輝く児童・生徒の育成 ・小中合同研究会の活性化を通して、小中一貫カリキュラムの推進を目指す。 ・全職員が参加する小中の授業参観を通して、教育課題を見直し、円滑な接続を目指す。 ・中一ギャップ解消に向けて、子どもに関わる情報交換を推進する。 ・土曜参観日に豊田中学校の吹奏楽部を招待し、全校で演奏を聴くことで交流を深める。

中期取組目標	○チーム豊田は、「開く つなげる とともに」をキーワードにして、一人ひとりの子どもが人、もの、ことと豊かにかかわり、じっくりと考えながら学び、安心と学ぶ喜びを感じられる学校づくりを目指します。 ・子ども同士がかかわり合いながら、学習の楽しさや自他の成長を実感できる授業づくりを推進し、学力の向上を図ります。 ・すべての子どもが安心して過ごせるような、温かく深い児童理解・児童指導を実践します。 ・学校(幼・保・小・中)・家庭・地域との連携を深め、地域の教育力を生かした学校づくりをし、まちを愛する子どもにします。
--------	---

重点取組分野	具体的取組
<b>生きてはたらく力</b> 担当 授業・評価	基礎的学習内容の定着・活用を目指し、各学年で重点的に取り組む内容を検討する。新学習指導要領を本来の時数で初めて実施していく年度となるため、PDCAを進めていく。一部教科担任制を進めると共にブロックで情報を共有し、教材研究を深める。
<b>豊かな心</b> 担当 心と安全	各教科・領域、特に重点研究で取り組む道徳教育、たてわり活動など、全教育活動において、「人・もの・こと」と豊かにかかわり合う場面を重視し、自他を大切にする心情や態度を育てる。落ち着いた生活を目指し、「生活目標の向上」「自己肯定感の向上」「環境整備」を重点項目として取り組む。
<b>健やかな体</b> 担当 心と安全	コロナ禍で、体力の低下が予想される中でも、運動の楽しさ、大切さを感じながら健康・体力作りに進んで取り組む意識を高める。「とよだ元気会議」(学校保健委員会)の開催方法を工夫する。学校生活全般を通して全校児童が、心と体の健康について、年間を通して考える場を設ける。
<b>児童・生徒指導</b> 担当 心と安全	学校のきまり、児童の心のケアについて、全職員で共有する。児童支援専任を中心にチーム豊田として組織的に対応し、いじめ防止基本方針に基づき、いじめの未然防止、不登校などの早期発見、解決に努める。児童指導報告会やいじめ防止対策会議で児童の状況を共通理解する。
<b>地域連携</b> 担当 主幹会・TSC	今年度も引き続き、新しい教育課程による学習の変化等への共通理解を図り、TSC(豊田小学校支援本部)など地域資源を生かした教育を図る。学校ホームページの定期的な更新に努め、教育活動について積極的に情報発信をしていく。
<b>特別支援教育</b> 担当 コーディネーター	一般級と個別支援学級の連携強化のため職員間の打ち合わせを密に行い、児童が自信をもって自己表現できるようコミュニケーション力向上を図る。配慮を要する児童の実態を把握し、SCやSSW、療育センターなど関係機関と連携して適切な支援を行う。えがおルームでの取り出し指導の充実を図る。
<b>自分づくり教育</b> 担当 授業・評価	「豊田っ子タイム」等の探究的学習を通して、学び続ける意欲や自ら行動を起こす力を育てる。オンラインやVTR等も含めた相互交流を通して、自分らしさを発見できるようにしていく。自分づくりパスポートを活用し、一年前からの自分を振り返り、目標をもてるようにする。
<b>いじめへの対応</b> 担当 児童支援専任	月1回定期的にいじめ防止対策会議を実施し、気になる児童や認知された案件の経過確認を丁寧に行うことで未然防止や早期発見、再発防止に努める。児童との面談やアンケート、YPアセスメントにより些細な変化を見逃さない体制づくりを強化する。
<b>人材育成・組織運営(働き方改革)</b> 担当 主幹会	コロナ禍の状況の中で培った昨年度の研究の持ち方のノウハウを踏まえ、授業研究を中心に、授業改善の実践力を高める。働き方改革の視点として、会議内容に見合う時間の確保として、月2回の会議設定や職員会議日の特別時程を入れる。